



9月あか1くみだより (3歳児)

まだまだ残暑が厳しいですが、夕方には秋の虫の鳴き声が聞こえるなど、日増しに秋の気配が感じられるようになりました。朝晩と昼の気温差が大きくなり、日中はとても暑く、体を少し動かしたただけでも汗が出ます。十分に水分補給をして、ゆったりと午睡の時間をとるなど、健康維持に気をつけて過ごしていきたいと思います。

私事ですが、9月に結婚式を控え、お盆休みの間も準備物の買出しや製作物で大忙しの日々でした。自分の生い立ちムービーを製作する為に実家から分厚いアルバムを持ってきて、夫婦で見合いっこもしました。主人の写真を見て「こんなに可愛かったのー!？」と驚いたり、私の写真を見て「そのままやん!昔から食いしん坊だったんだね」と小さい頃の思い出に浸りました。そんな和やかな時間もあれば、結婚式への考え方や取り組み方の違いなど、些細なことでイライラし、喧嘩もしました。「もういっそのこと結婚式やめればいいのに…」なんて思ったこともありました。主人とは付き合ってから5年になり、付き合った当初はほとんど喋らず、笑わず、冗談も言わないような人で、なんてつまらないんだろうと感じていました。しかし内面の真面目さや優しさを知ることによって徐々に惹かれていきました。私自身も緊張しいで、自分の気持ちを我慢して溜め込んでしまうところがありました。でもどんなことでも受け入れてくれる主人と過ごすようになってから思ったことはすぐに伝えられる性格が変わっていきました。お盆中の喧嘩は「こんな人じゃなかったのに…」「なんで向こうから謝ってくれんのやろ…」なんて相手にばかり求めていたと反省しました。主人も自分の気持ちや感情をストレートに出してくれるようになったこと、言い合いが出来る関係になれた良いきっかけになったのかなと思います。保育の中でも相手に求めるばかりでなく、自分の考え方や関わり方を変えていくことを意識していきたいなと思います。

<文責：秦 幸子>

<子どもが安心して元気に生活できるように保育教諭が子どもにすること>

- * 子ども一人ひとりの健康状態を十分に把握し、暑さに留意し、衣服の調節・水分補給が出来るよう子ども達に声を掛けたり、環境を整えていきます。
- * 運動遊びが盛んになるので、園庭や運動器具の安全点検を行うと共に、子どもが安全な使い方をしているか確認をします。また、活動量の増える時期なので、十分休息をとることができるようしていきます。
- * 着替えや身支度など身の回りのことを自分でしようとする姿を見守り、できたことを認め、自分でできた喜びを一緒に共感して味わっていきます。
- * 保育教諭と一緒にルールのある遊びを繰り返しながら、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わうことができるように援助していきます。
- * 運動遊びでは一人ひとりの発達に合わせて楽しみながら行えるよう援助していきます。
- * 好きな曲やリズムに合わせて体を動かしたり、踊ったりしながら保育教諭や友達と楽しさを共感していきます。
- * 自然物に興味を持ち季節の移り変わりが感じられるよう声をかけたり、子どもたちの気づきに一緒に共感していきます。
- * 道路の歩き方等の交通ルールについて伝え、安全に気をつけて園外散歩に出かけられるようにします。

<子どもの遊びや教育的活動>

- * 保育教諭に見守られながら、朝の支度や手洗い、うがい、着脱、排泄など身の回りのことを自分でやろうとします。
- * 友達や保育教諭とわらべうたなど、簡単なルールのある遊びを楽しんでやります。
- * 保育教諭や友達と夏に経験したことを再現したり、ごっこ遊びをしたりして遊びます。
- * 身近にある自然物を観察したり、見つけたりして季節の変化を感じます。
- * 好きな遊びを自分で見つけ、保育教諭に見守られながら楽しく遊びます。
- * 音楽に合わせて遊戯を楽しんだり、季節の歌をうたったりします。
- * 戸外で思いきりプール遊びやかけっこ、サーキット、玉入れなどの運動遊びを楽しみます。



<9月1日は防災の日です>

毎月避難訓練を実施しています。はじめは、放送の音で泣き出す子もいましたが、回を重ねるごとにスムーズに避難できるようになってきました。ご家庭でも家の中や近所の危険な所を確認したり、装備品を揃えたり、お子様と一緒に準備して防災への意識を高め自分自身の守り方を学びましょう。



<お願いします>

日中はまだまだ暑い日が続きますが、朝夕は涼しくなってきました。気温の変化に対応できるように着脱しやすい服装で登園させて下さい。夏の疲れも出る頃ですので、体調を整えるようにしましょう。



～サッカー楽しいね～

三輪車で遊ぶ子ども達は青組のお兄さん、お姉さんがドッジボールをしているのをいつも見ていました。そんな姿を見てボールに興味を持ち、ボールを蹴り始めました。最初はコントロールがうまく出来ず、蹴っては追いかけての繰り返しで、途中で友達とボールの取り合いになったりとみんなバラバラの動きをしていました。そこでサッカーゴールを出してみました。「ここにボールが入ったらゴールだよ」と伝えるとゴールする度に「やったー！」と喜びでした。何日も遊んでいくうちに、確実にゴールに入れる為に近くから蹴ったり、今度はボールがサッカーゴールを越えたら勝ちという新しい遊び方まで考え始めました。サッカーのルールを教えることよりも子ども達が遊んでいく課程の中で意見を出し合ったり、考えたりすることをこれからも大切に、見守っていきたいと思います。

